

Kenkyu Soshu No.638

# 研究 双書

## 資源環境政策の形成過程

「初期」の制度と組織を中心に

寺尾忠能：編



IDE-JETRO アジア経済研究所

Kenkyu Soshu No.638

研究  
双書

# 資源環境政策の形成過程

「初期」の制度と組織を中心に

寺尾忠能：編

IDE-JETRO アジア経済研究所

研究双書 No.638

寺尾忠能 編

『資源環境政策の形成過程——「初期」の制度と組織を中心に——』

**Shigen Kankyō Seisaku no Keisei Katei: “Shyoki” no Seido to Soshiki wo Cyūshin ni**  
(Formation of Natural Resources and Environmental Policies:  
Institutions and Organizations in the “Early Stage”)

*Edited by*

Tadayoshi TERAO

*Contents*

- Introduction The Formation Process of Natural Resources and Environmental Policies:  
Institutions and Organizations in the “Early Stage” (Tadayoshi TERAO)
- Chapter 1 Environmental Public Interest Litigation and Public Participation in China:  
Institutional Reform under the Authoritarian Regime (Kenji OTSUKA)
- Chapter 2 The Formation Process of Waste Management Policy in Taiwan: Focusing on  
the “Waste Management Act of 1974” (Tadayoshi TERAO)
- Chapter 3 The Birth of Environmental Impact Assessment in the U.S.: Beyond Proper  
Consideration (Hiroki OIKAWA)
- Chapter 4 The Disestablishment of the Climate Commission in Australia and the Creation  
of the Crowdfunded Climate Council (Susumu KITAGAWA)
- Chapter 5 Deep Control: Evolution of Irrigation and State Power in Southeast Asia  
(Jin SATO)

[Kenkyu Soshō (IDE Research Series) No. 638]

Published by the Institute of Developing Economies, JETRO, 2019  
3-2-2, Wakaba, Mihama-ku, Chiba-shi, Chiba 261-8545, Japan

## 目 次

まえがき

序 章 資源環境政策の形成過程の考察のために	
——「初期」の制度と組織を中心に——	寺尾忠能… 3
はじめに	3
第1節 初期の資源環境政策の形成過程	4
第2節 初期の政策・制度・組織と後発性、経路依存性	7
第3節 資源環境政策の形成過程と政治体制	9
第4節 日本の「初期」資源環境政策を対象に含む先行研究	12
第5節 本書の構成と論点	24
5-1 各章の内容	24
5-2 本章の議論と各章との関連	28
第1章 中国における環境公益訴訟と公衆参加	
——権威主義体制下での制度改革——	大塚健司… 33
はじめに	33
第1節 中国の環境政策における情報公開と公衆参加	35
第2節 中国における環境訴訟	41
第3節 環境司法の専門化と環境公益訴訟の試行	43
第4節 改正環境保護法施行後の環境公益訴訟の展開	48
第5節 環境公益訴訟を支援する環境 NGO と公衆参加	54
おわりに	58

第2章 台湾における廃棄物管理政策の形成過程	
——1974年廃棄物清浄法を中心に——	寺尾忠能…63
はじめに	63
第1節 廃棄物管理政策の形成過程	64
第2節 「廃棄物清浄法」の制定と改正	68
第3節 1974年廃棄物清浄法の立法過程	70
第4節 1974年水汚染防治法,	
1975年空気汚染防制法の立法過程との比較	74
4-1 水汚染防治法, 空気汚染防制法の制定時の問題点	75
4-2 立法化の要因	77
4-3 立法過程の共通点と相違点	80
第5節 法制度執行の受け皿としての行政組織の形成	85
おわりに	90
第3章 アメリカ合衆国における環境アセスメントの誕生	
——「適正配慮」を越えて——	及川敬貴…95
はじめに	95
第1節 先行研究と問題設定	96
1-1 国家環境政策法	96
1-2 魚類・野生生物調整法	98
1-3 長期の制度発展への眼差し	99
第2節 大衆化した「保全」とその政治利益化	100
2-1 萌芽としての1920年水力発電法	101
2-2 大衆化した「保全」	102
2-3 ニューディールと1934年法	104
第3節 魚類・野生生物調整法の構造的変容	105
3-1 1934年法	105
3-2 1946年法	107

3-3	1958年法	110
第4節	FWCAからNEPAへ	
	——環境アセスメントとはなにか——	111
4-1	「環境」への影響	112
4-2	「公衆参加」の確保	113
4-3	「代替案」の検討義務	113
	おわりに	114
第4章	豪州クライメート・コミッションの廃止と	
	非政府組織としての再建の試み	喜多川進… 119
	はじめに	119
第1節	オーストラリアの気候変動防止政策の展開	119
第2節	クライメート・コミッションの創設と活動概要	122
第3節	アボット政権誕生によるクライメート・コミッションの廃止	125
第4節	クライメート・カウンシルの設立と活動内容	127
4-1	クライメート・カウンシルの設立	127
4-2	クライメート・カウンシルの活動内容	128
第5節	クライメート・カウンシルの最近の特筆すべき活動	132
第6節	クライメート・カウンシル支持の背景	135
第7節	他の政府組織の廃止事例との比較	139
第8節	クライメート・カウンシルの設立に至る過程	
	——「初期」性, 後発性, 経路依存性からの検討——	141
	おわりに	143
第5章	深い統治	
	——東南アジアの灌漑と国家権力の浸透——	佐藤 仁… 147
	はじめに	147
第1節	資源管理と国家権力	148

第2節 国家対コミュニティの二項対立を疑う……………	152
2-1 灌漑開発における国家の優越	152
2-2 東南アジアにおける灌漑施設拡大の動因	159
第3節 強制力の源泉……………	160
3-1 マンのインフラ的権力論	160
3-2 国家関与の諸次元	161
3-3 理論的示唆	164
第4節 結論……………	166



資源環境政策の形成過程  
——「初期」の制度と組織を中心に——





〔略称・アルファベット〕

- CCA (Climate Change Authority, 気候変動局, オーストラリア) 122, 126, 127
- CLAPV (Center for Legal Assistance to Pollution Victims, 中国政法大学公害被害者法律援助センター) 37, 38, 42, 52, 55
- FWCA (Fish and Wildlife Coordination Act, 魚類・野生生物調整法, アメリカ) 26, 95, 96, 98-100, 105, 107, 111-115
- FPC (Federal Power Commission, 連邦動力委員会, アメリカ) 101
- IPE (Institute of Public and Environmental Affairs, 公衆環境研究センター, 中国) 37, 56, 57
- IWL (the Izaak Walton League, アイザック・ウォルトン・リーグ, アメリカ) 103
- NEPA (National Environmental Policy Act, 国家環境政策法, アメリカ) 26, 95-97, 99, 105, 107, 111-115
- NRDC (Natural Resources Defense Council, 米国天然資源保護協議会) 55
- OTA (Office of Technology Assessment, 技術評価局, アメリカ) 139, 140

〔人名索引〕

- アボット, トニー (Tony Abbott) 27, 119-121, 125-128, 136, 141-143
- 飯島伸子 18, 19
- イッキーズ, ハロルド (Harold L. Ickes) 104
- 宇井純 6, 16-18, 22
- ウィットフォーゲル, カール A. (Karl A. Wittfogel) 153, 154, 160, 161
- ウォーラス, ヘンリー (Henry A. Wallace) 104
- 内水護 22, 23
- 王燦発 34, 37, 41, 42, 44, 47, 50
- 曲格平 36
- ギラード, ジュリア (Julia Gillard) 26, 120-123, 125, 142, 143
- 蔣経国 78
- 蕭新煌 79, 80
- スコット, ジェームズ (James Scott) 147
- 莊進源 72, 73, 75, 86-88
- ハーシュマン, アルバート (Albert Hirschman) 148, 153
- ハワード, ジョン (John Howard) 120
- 平野孝 20, 21
- 馮嘉 37, 42, 47
- マン, マイケル (Michael Mann) 28, 160, 161
- 宮本憲一 14-16
- 村尾行一 22, 23
- ラッド, ケビン (Kevin Rudd) 26, 120, 121, 141-143
- 李鵬 36
- ロバートソン, ウィリス (A. Willis Robertson) 104

## 〔事項索引〕

## 【あ行】

アイザック・ウォルトン・リーグ (アメリカ) → IWL  
 アフリカ 158  
 維持管理 28, 148, 152, 156-158, 162-164, 166, 167  
 維持への強制 148, 149  
 因果関係 6, 7, 11, 15, 42-44, 47  
 インフラ的権力 28, 160, 161  
 埋め込まれた環境主義 40, 59  
 衛生 71, 161  
   環境—— 65, 68, 70, 73, 86, 88, 91  
   公衆—— 4, 12, 63, 65, 66, 68, 70, 76, 81, 83, 85-89, 91  
   保健—— 162, 163  
 エネルギー 4, 36, 67, 83, 84, 133, 134, 162  
   再生可能—— 125, 129, 130-134  
 汚物清除條例 (台湾) 65, 66, 71, 72, 81

## 【か行】

開墾局 (アメリカ) 101  
 開発と環境 5, 10, 13  
 灌漑 27-30, 101, 147, 148, 151-167  
 環境アセスメント (アセス, 環境影響評価) 25, 26, 29, 30, 87, 88, 95-100, 106, 107, 111-115  
 環境 NGO (社会団体, 民間非営利団体) 25, 26, 34, 35, 37-39, 46, 47, 52, 54, 55, 57, 58, 130  
 環境裁判所 44  
 環境司法 35, 43, 58  
 環境社会学 4, 17-19, 21  
 環境政治学 4, 19-21  
 環境 (公益) 訴訟 24, 25, 29, 34, 35, 37, 41-59  
 環境の 10 年 (アメリカ) 96-98  
 環境法 (規) 5, 6, 15, 19, 21, 25, 29, 33, 35, 36, 50, 64, 74, 75, 80, 85, 87-91, 96

環境法学 (環境法研究) 4, 19, 21, 100  
 環境保護キャンペーン 36, 37  
 環境保護局 (台湾) → 行政院衛生署環境保護局  
 (改正) 環境保護法 (中国) 25, 34, 35, 41, 45-48, 53, 55, 58  
 監督検査活動 33, 36, 37  
 緩慢に推移する (過程) 8, 99, 113  
 官僚制 153, 155  
 気候変動・エネルギー効率省 (オーストラリア) 122, 123, 129  
 気候変動省 (オーストラリア) 121, 122  
 気候変動局 (オーストラリア) → CCA  
 技術評価局 (アメリカ) → OTA  
 協議 (条項, 要件) 26, 97, 98, 106-111, 113  
 行政院衛生署 (台湾) 64-68, 71-73, 75-77, 83, 86, 87, 89, 91  
   ——環境衛生處 (台湾) 25, 64, 86-89, 91  
   ——環境保護局 (台湾) 64-66, 68, 76, 86, 88, 89, 91  
 行政院環境保護署 (台湾) 64-69, 76, 86-89, 91  
 魚類・野生生物調整法 (アメリカ) → FWCA  
 空気汚染防制区 (台湾) 77, 84, 85  
 空気汚染防制法 (台湾) 25, 63, 64, 71, 74-85, 87, 89, 90  
 クライメート・カウンシル (オーストラリア) 27, 119, 127-136, 138, 140-144  
 クライメート・コミッション (オーストラリア) 26, 27, 119, 122-131, 139-143  
 クラウドファンディング 27, 57, 119, 127-129, 135, 136, 138, 142  
 グリーン・ウォーターシェッド (中国) 37  
 経済開発政策 3, 8, 11, 29, 78, 80, 86, 89, 141  
 經濟部 (台湾) 71, 72, 75-77, 83, 89

——工業局（台湾） 67, 87  
 ——水資源統一規劃委員會（台湾）  
 76, 83, 88  
 経路依存（性） 3, 4, 7-9, 24, 29, 30, 59,  
 89, 90, 99, 115, 141, 142, 156  
 権威主義（体制） 10, 11, 24, 29, 30, 33,  
 34, 40, 41, 43, 58, 59, 78, 79, 89  
 権威主義体制のなかでの応答 43, 59  
 合意（形成） 7, 11, 23, 123  
 公害国会（日本） 15, 16, 19, 84  
 公害史 4, 14, 16, 22  
 公害対策基本法（日本） 14-16, 19-21  
 公共財 30, 161, 164, 165  
 公衆環境研究センター（中国）→ IPE  
 後発国 11-13, 16, 24, 26  
 後発性 4, 7-9, 13, 29, 30, 89, 112, 141,  
 142  
 後発の公共政策 3, 4, 10, 24, 29, 33, 89,  
 96, 115, 141  
 鉱物 4, 148-152, 159  
 工兵隊（国防省陸軍工兵隊, アメリカ）  
 101, 109, 110  
 国民党（中国国民党, 台湾） 65, 78, 79  
 国家環境政策法（アメリカ）→ NEPA  
 国家権力 27, 28, 58, 147-149, 151, 154,  
 159-161, 165-167  
 コミュニティ 130, 131, 144, 149, 150,  
 152, 154, 156-159, 164

## 【さ行】

参加 11, 24, 30, 33, 34, 38, 44, 55-59, 67,  
 96, 136, 138, 163  
 公衆—— 24-26, 30, 33-40, 54, 58, 59,  
 96, 113, 114  
 参加原則 34  
 産業政策 8, 141  
 資源回収基金管理委員会（台湾） 67, 69  
 資源管理 4, 24, 27, 29, 84, 148-151, 158,  
 164  
 資源の呪い 149  
 資源利用 148, 152  
 自然の友（中国） 37, 38, 45, 49, 51-53,  
 55-57

指定清除地区（台湾） 68, 70, 73, 81, 85  
 社会団体→環境 NGO  
 情報公開 25, 33-36, 40, 59, 130  
 初期 3-9, 11-14, 19-30, 35, 36, 63, 64, 80,  
 85, 87, 91, 96, 98, 100, 112, 115, 141,  
 142, 148, 156, 158, 165  
 住民組織 152  
 省庁間協議→協議  
 自力救済 41, 65  
 森林 50, 98, 102, 148-151, 159  
 水区（台湾） 75, 84, 85  
 水質汚濁（水汚染） 12, 22, 35, 37, 42,  
 44, 50, 53, 57, 63-65, 69, 71, 76, 78, 83,  
 86-90  
 水質汚濁防止法（日本） 21, 84  
 水質二法（日本） 6, 14, 18, 21-23, 84  
 政治体制 4, 9-11, 24, 29, 30, 89  
 生態系破壊 47, 50, 53  
 生物多様性 12, 112  
 全国人民代表大会（中国） 33, 38, 39,  
 44, 52  
 噪音管制法（台湾） 63, 71, 74, 75, 87  
 ソーシャルメディア（SNS） 37-39, 57

## 【た行】

タイ（シヤム） 149, 150, 154, 155, 159,  
 163  
 大気汚染 12, 14, 21, 35, 39, 40, 50, 57,  
 63-65, 71, 77, 84, 86, 87, 89, 90  
 大衆化した保全 102, 104  
 代替案 26, 29, 96, 97, 100, 113, 114  
 ダム 26, 44, 95, 98, 101, 106, 107, 109-  
 111, 153, 158, 162  
 中国政法大学公害被害者法律援助セン  
 ター→ CLAPV  
 抵抗 27, 147, 164, 167  
 天津緑領（天津未来緑色青年領袖協会,  
 中国） 57, 58  
 統治性 161  
 東南アジア 18, 24, 27-30, 147-149, 154,  
 155, 158, 159, 164, 166  
 土壌（汚染） 7, 21, 50, 52, 66  
 土地 147-150, 162

## 【な行】

二項対立 27, 147, 150, 152, 158  
 日本 14-21, 23, 35, 66, 72, 74, 77, 78, 84,  
 150  
 日本の経験 13  
 ニューディール (アメリカ) 98, 104,  
 105

## 【は行】

ばい煙規制法 (日本) 14, 21-23  
 廃棄物 (管理) 25, 63-75, 80, 81, 83-90  
 廃棄物清理工法 (台湾) 25, 63, 64, 66-68,  
 70-75, 78-85, 87, 89, 90  
 廃五金 66, 67, 69  
 配慮  
 十分な—— 107, 109, 110, 111  
 適正—— 26, 95, 110, 114  
 同等の—— 26, 95, 98, 110, 113  
 非国家アクター 27, 143, 144  
 福建緑家園 (中国) 49, 53  
 米国天然資源保護協議会→NRDC  
 ボランティア 25, 37, 38, 55-59, 128, 136,  
 138, 140  
 本州製紙江戸川工場事件 (日本) 14,  
 16-18, 21, 22

## 【ま行】

水汚染→水質汚濁  
 水汚染防治法 (台湾) 25, 63, 64, 71, 72,  
 74-85, 87, 89, 90  
 水資源 4, 75-78, 83, 85, 98, 101, 102, 106-  
 113, 151, 166

水資源統一規制委員会 (台湾) →経済部  
 水資源統一規制委員会  
 水保病 5, 14-16, 19  
 ミャンマー 155, 157, 158  
 民間非営利団体→環境NGO  
 民主主義 (体制, 制度, 国家) 9-11, 35,  
 147  
 無過失責任 15, 23, 47

## 【や行】

野生生物 104, 106-112  
 ——資源 104, 109, 110  
 —— (の) 保全 26, 95, 98, 100, 102,  
 104, 105, 108, 110, 111, 113

## 【ら行】

リサイクル 64, 67, 69, 70, 74, 84, 85, 88,  
 112  
 リスク 7, 12, 124  
 立法委員 (台湾) 69, 71, 72, 77-80, 83,  
 84, 90  
 立法院 (台湾) 25, 63, 64, 70, 74, 75, 77-  
 81, 83, 86, 90  
 緑家園ボランティア (中国) 37  
 緑行齊魯 (済南市緑行齊魯環保公益服務  
 中心, 中国) 55-57  
 緑発会 (中国生物多様性保護・緑色發展  
 基金会) 49, 51, 52  
 連邦動力委員会 (アメリカ) →FPC

## 【わ行】

淮河衛士 (中国) 37  
 和解 46, 50, 51, 53, 55, 56

## 複製許可および PDF 版の提供について

点訳データ、音読データ、拡大写本データなど、視覚障害者のための利用に限り、非営利目的を条件として、本書の内容を複製することを認めます (<http://www.ide.go.jp/Japanese/Publish/reproduction.html>)。転載許可担当宛に書面でお申し込みください。

また、視覚障害、肢体不自由などを理由として必要とされる方に、本書の PDF ファイルを提供します。下記の PDF 版申込書（コピー不可）を切り取り、必要事項をご記入のうえ、販売担当宛ご郵送ください。折り返し PDF ファイルを電子メールに添付してお送りします。

〒 261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉 3 丁目 2 番 2  
日本貿易振興機構 アジア経済研究所  
研究支援部出版企画編集課 各担当宛

ご連絡頂いた個人情報は、アジア経済研究所出版企画編集課（個人情報保護管理者－出版企画編集課長 043-299-9534）が厳重に管理し、本用途以外には使用いたしません。また、ご本人の承諾なく第三者に開示することはありません。

アジア経済研究所研究支援部 出版企画編集課長

PDF 版の提供を申し込みます。他の用途には利用しません。

寺尾忠能編『資源環境の形成過程  
——「初期」の制度と組織を中心に——』

【研究双書 638】2019 年

住所 〒

氏名：

年齢：

職業：

電話番号：

電子メールアドレス：



てら お ただよし  
寺尾 忠能 (アジア経済研究所新領域研究センター)

おおつか けん し  
大塚 健司 (アジア経済研究所新領域研究センター)

おいかわ ひろ き  
及川 敬貴 (横浜国立大学大学院環境情報研究院)

き たがわ すすむ  
喜多川 進 (山梨大学生命環境学部)

さとう じん  
佐藤 仁 (東京大学東洋文化研究所)

—執筆順—

## 資源環境政策の形成過程

——「初期」の制度と組織を中心に—— 研究双書 No.638

2019年3月22日発行

定価 [本体 2900円+税]

編者 寺尾忠能

発行所 アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2

研究支援部

電話 043-299-9735

FAX 043-299-9736

E-mail syuppan@ide.go.jp

<http://www.ide.go.jp>

印刷所 康印刷株式会社

© 独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所 2019

落丁・乱丁本はお取り替えいたします

無断転載を禁ず

ISBN 978-4-258-04638-6

# 「研究双書」シリーズ

(表示価格は本体価格です)

638	<b>資源環境政策の形成過程</b> 「初期」の制度と組織を中心に 寺尾忠能編 2019年 176p. 2,900円	資源環境政策は「後発の公共政策」であり、その形成過程は既存の経済開発政策の影響を受け、強い経路依存性を持つ。発展段階が異なる諸地域で資源環境政策の形成過程をとりあげてその「初期」に着目し、そこで直面した困難と内在した問題点を分析する。
637	<b>メキシコの21世紀</b> 星野妙子編 2019年 255p. 4,000円	激動のとは口にあるメキシコ。長年にわたる改革にもかかわらず、なぜ豊かで安定した国になれないのか。その理由を、背反する政治と経済と社会の論理のせめぎ合いの構図に探る。
636	<b>途上国の障害女性・障害児の貧困削減</b> 数的データによる確認と実証分析 森杜也編 2018年 199p. 3,200円	途上国の脆弱層のなかでも、国際的にも関心の高い障害女性と障害児について、フィリピン、インド、インドネシアの三カ国を取り上げ、公開データや独自の数的データを用いて、彼らの貧困について実証的に分析する。
635	<b>中国の都市化と制度改革</b> 岡本信広編 2018年 241p. 3,700円	2000年代から急速に進む中国の都市化。中国政府は自由化によって人の流れを都市に向かわせる一方で、都市の混乱を防ぐために都市を制御しようとしている。本書は中国の都市化と政府の役割を考察する。
634	<b>ポスト・マハティール時代のマレーシア</b> 政治と経済はどう変わったか 中村正志・熊谷聡編 2018年 399p. 6,400円	マハティール時代に開発独裁といわれたマレーシアはどう変わったか。政治面では野党が台頭し経済面では安定成長が続く。では民主化は進んだのか。中所得国の罫を脱したのか。新時代の政治と経済を総合的に考察する。
633	<b>多層化するベトナム社会</b> 荒神衣美編 2018年 231p. 3,600円	2000年代に高成長を遂げたベトナム。その社会は各人の能力・努力に応じて上昇移動を果たせるような開放的なものとなっているのか。社会階層の上層/下層に位置づけられる職業層の形成過程と特徴から考察する。
632	<b>アジア国際産業連関表の作成</b> 基礎と延長 桑森啓・玉村千治編 2017年 204p. 3,200円	アジア国際産業連関表の作成に関する諸課題について検討した研究書。部門分類、延長推計、特別調査の方法などについて検討し、表の特徴を明らかにするとともに、作成方法のひとつの応用として、2010年アジア国際産業連関表の簡易延長推計を試みる。
631	<b>現代アフリカの土地と権力</b> 武内進一編 2017年 365p. 4,900円	マイクロ、マクロな政治権力が交錯するアフリカの土地は、今日劇的に変化している。その要因は何か。近年の土地制度改革を軸に、急速な農村変容のメカニズムを明らかにする。
630	<b>アラブ君主制国家の存立基盤</b> 石黒大岳編 2017年 172p. 2,700円	「アラブの春」後も体制の安定性を維持しているアラブ君主制諸国。君主が主張する統治の正統性と、それに対する国民の受容態度に焦点を当て、体制維持のメカニズムを探る。
629	<b>アジア諸国の女性障害者と複合差別</b> 人権確立の観点から 小林昌之編 2017年 246p. 3,100円	国連障害者権利条約は、独立した条文で、女性障害者の複合差別の問題を特記した。アジア諸国が、この問題をどのように認識し、対応する法制度や仕組みを構築したのか、その現状と課題を考察する。
628	<b>ベトナムの「専業村」</b> 坂田正三著 2017年 179p. 2,200円	ベトナムでは1986年に始まる経済自由化により、「専業村」と呼ばれる農村の製造業家内企業の集積が形成された。ベトナム農村の工業化を担う専業村の発展の軌跡をマイクロ・マクロ両面から追う。
627	<b>ラテンアメリカの農業・食料部門の発展</b> バリュチェーンの統合 清水達也著 2017年 200p. 2,500円	途上国農業の発展にはバリュチェーンの統合がカギを握る。ペルーを中心としたラテンアメリカの輸出向け青果物やプロイラーを事例として、生産性向上と付加価値増大のメカニズムを示す。
626	<b>ラテンアメリカの市民社会組織</b> 継続と変容 宇佐見耕一・菊池啓一・馬場香織共編 2016年 265p. 3,300円	労働組合・協同組合・コミュニティ組織・キリスト教集団をはじめ、ラテンアメリカでは様々な市民社会組織がみられる。コーポラティズム論や代表制民主主義論を手掛かりに、近年のラテンアメリカ5カ国における国家とこれらの組織の関係性を分析する。